

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
全国農業協同組合連合会	代表理事理事長	山崎 周二	東京都	農業団体	http://www.zennoh.or.jp

当会は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月27日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	物流事業者や取引先から、荷待ち時間や手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	パレットやカゴ台車等を活用し、手荷役時間を削減することで物流の効率化をはかります。
3	A ⑤	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離	トラック運転手の拘束時間を短縮するため、物流事業者から幹線輸送部分と集荷配送部分の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
4	A ⑥	集荷先や配送先の活用	運送会社や取引先との協議をおこない、配送拠点の整備や保管倉庫等の活用を通じて、物流の効率化をはかります。
5	A ⑦	運転以外の作業部分の分離	物流事業者から運転業務と運転以外の附帯作業の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
6	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	長距離輸送について、トラックからフェリー、RO-RO船や鉄道の利用への転換をおこないます。

PR欄	全農グループは急速に変化する生産・流通・消費構造や海外情勢に対応するため、5年後、10年後を見据えて事業を展開しています。物流業界において、eコマースの拡大による需要増の一方、ドライバー不足の深刻化など様々な物流課題があるなか、安全で新鮮な国産畜産物を消費者に届けるとともに、農家・組合員の営農や生活を支えるため、広域拠点化による効率化や、パレット輸送の拡大、トラックから貨物・船舶輸送への転換等に取り組んでいきます。
-----	---